



2019年11月8日(金)～

11月28日(木)の活動

●北陸先端科学技術マッチングハブ

11月11日(月)～12日(火) 金沢市

ANAクラウンプラザホテル金沢で北陸先端科学技術大学院大学主催の「Matching HUB kanazawa 2019」が開催された。11日のオープニングセレモニーでは、久和会長が来賓あいさつを行い、「北陸近未来ビジョン」や産学官連携の重要性などを発言した。北経連として、12日のパネル展示にも出展し、シェアトップ150を配布するとともに、北経連の活動について紹介した。(担当:小林)

●自民党 予算・税制等に関する政策懇談会

11月12日(火) 東京

来年度の予算編成を行うにあたり、各経済団体からの要望についてヒアリングを行う場として、自民党の商工・中小企業関係団体委員会と経済産業部会の合同で「予算・税制等に関する政策懇談会」が11月12日に自民党本部で開催され、当会からは山下専務理事が出席し、北陸新幹線について「金沢・敦賀間の2022年度末までの確実な開業」と「環境アセスメントの早期完了、安定的財源確保による敦賀・大阪間の敦賀開業からの切れ目ない着工と2030年頃までの一日も早い全線整備」を強く訴えた。(担当:鳥山)

●西日本経済協議会 第61回要望活動

11月13日(水) 東京

西日本経済協議会の6つの経済連合会会長が、11月13日、活力あるイノベーション基盤の強化、交通インフラの整備などの10月11日の総会決議事項について要望活動を行った。

久和会長からは、北陸新幹線について、2023年春の金沢-敦賀間の確実な開業とともに、新大阪までの全線開業時期の2030年への前倒しにより4.3兆円の経済波及効果があることを説明し、敦賀開業から切れ目なく着工することを要望した。

菅官房長官、麻生財務大臣、高市総務大臣、赤羽国土交通大臣、中野経済産業大臣政務官、自由民主党二階幹事長・岸田政務調査会長を訪問し、要望書を手渡した。(担当:高畠)

●国土強靱化税制に関する提言

11月5日(火)・11月13日(水) 東京

11月5日、北陸経済連合会など8つの経済連合会は、国土強靱化税制に関する共同提言をまとめた。提言には、各省庁が所管する事業者の事業継続に必要な施策を検討し、促進のための税制を整備・創設する必要性を明記。税制対象となる防災投資の範囲や自然災害の種類を拡大することを提起した。

11月13日には、参議院議員会館で開かれた自民党の議員懇話会に、久和会長など各経済連合会のトップが出席。豊田中部経済連合会会長から提言内容を説明し、民間主体の防災投資を促す仕組みづくりを促すことを求めた。これに対して、議員懇話会代表の自民党二階幹事長は「防災対策は先手を打たないと意味がない。自民党はこの税制に対応していく」と応じた。(担当:高畠)

●北陸選出自民党国会議員との懇談会

11月14日(木) 東京

11月14日、北陸三県選出自民党国会議員との懇談会を東京都内で開催し、14名の議員に参加いただいた。当会からは久和会長、高木副会長をはじめ6名が出席した。

当会からは、本年6月に発表した北陸近未来ビジョンについて紹介し、今年度の政府に対する北陸経済界からの要望書に沿って説明した後、意見交換を行った。

議員からは、北陸新幹線の大阪延伸に関する財源確保に向けた検討状況のほか、防災・減災対応や女性活躍、インバウンド対応の必要性などについてコメントいただいた。このほか、北陸近未来ビジョンで掲げたありたい姿「スマート・リージョン北陸」の関連で、AI、IoT、5Gなどの先端技術の活用にチャレンジングであってほしいとの指摘もいただいた。

(担当:鳥山)

●北陸新幹線建設促進同盟会等 合同中央要請

11月14日(木) 東京

北陸新幹線建設促進同盟会・北陸新幹線建設促進北信越五県議会協議会・関西経済連合会・関西広域連合会と当会が合同して中央要請活動を実施し、当会からは久和会長、高木副会長が参加した。

要望先の国交省 佐々木大臣政務官、自民党 鈴木



総務会長・稲田幹事長代行、公明党 井上副代表・石井幹事長代行・石田政務調査会長・太田北陸信越方面本部長・竹内関西方面本部長、総務省 齋藤大臣政務官に対し、金沢・敦賀間の確実な開業、敦賀駅等における乗換利便性の確保、敦賀・大阪間における敦賀開業から切れ目のない着工および令和12年度末頃までの大阪までの全線整備、財源の確保等、北陸新幹線の早期全線整備に向けた要望活動を行った。

また今年度は台風19号の影響により、北陸新幹線が長野・上越妙高間で運休したことを受け、一日も早い完全復旧、完全復旧までの間の利用者の利便性の確保等についての緊急要請を実施した。(担当:橋本)

●中部縦貫自動車道 大野油坂道路 整備促進大会・要望活動

11月14日(木) 東京

中部縦貫自動車道建設促進福井県協議会は、10年ぶりに東京都内で整備促進大会を開催し、福井県内未開通の大野油坂道路が、2023年春の北陸新幹線敦賀開業と同時期に開通できるよう予算確保を求める決議を採択した。

大会後には、財務省太田主計局長などを訪問し、採択した決議書を提出した。大会、要望活動ともに、北陸経済連合会から小林常務が出席した。

(担当:高島)

●北陸産学技術交流会

11月15日(金) 金沢市

北陸産学技術交流会「企業見学会 澁谷工業(株)」が、先端技術推進委員会の澁谷委員長はじめ会員の企業・大学から57名が参加し開催された。

この交流会は、今年度からの新たな取組みで、企業の技術開発部門等の関係者、大学の産学連携部門および研究者も参加し、会員相互の先端技術等の取組み紹介や、施設見学等を通して交流を深めることを目的としている。

15日の見学会においては、澁谷工業(株)本社で事業概要と歴史、森本工場で再生医療事業の説明を受け、再生医療設備を見学した。その後の金沢市内のホテルの懇親会では、見学会の感想等で懇談し交流を深めた。

(担当:坂井)

●第46回北陸地方経済懇談会

11月20日(火) 金沢市

(一社)日本経済団体連合会との第46回北陸地方経済懇談会を、ANAクラウンプラザホテル金沢で開催した。『「スマート・リージョン北陸」をめざして～「Society 5.0 for SDGs」で新たな時代を切り拓く～』

を基本テーマに、経団連から古賀審議員会議長をはじめ約30名、当連合会から約120名が出席した。

懇談会の開会挨拶で久和会長は、当会が取りまとめた「北陸近未来ビジョン」のなかで北陸のありたい姿としている「スマート・リージョン北陸」をめざしていくためには、Society 5.0の実現、北陸の大阪までの全線整備が不可欠であり、経団連と連携し、取り組んでいきたいと述べた。

続いて経団連 古賀議長は、日本を新しい経済成長のステージに発展させていくために、地方経済の活性化、Society 5.0の実現、経済構造改革、持続可能なエネルギー・環境政策の実現、民間経済外交の展開に取り組んでいくと述べた。

懇談会では「産業振興と地域力の向上」のテーマのもと、Society 5.0の実現、人材の地方定着・地方回帰による定住人口の増加、女性活躍に対して意見交換が行われた。また、経団連と連携し進めているマッチング事業について、進捗状況およびワークショップの開催などが紹介された。

「社会基盤の整備促進と広域観光振興」のテーマでは、北陸新幹線の大阪までの早期全線整備、訪日外国人観光客の誘客等の広域観光振興に関して意見交換が行われた。

懇談会翌日の11月21日(水)には、古賀議長をはじめとした経団連役員が(株)箔一の工場を視察した。(担当:橋本)

●「かがやき・つなぐ」北陸・信州留学生就職促進プログラム コンソーシアム総会・シンポジウム

11月21日(木) 金沢市

金沢大学と信州大学が連携し留学生の北陸・信州地域への就職を支援する標記プログラムのコンソーシアム総会とシンポジウムが開催され、企業、関係機関など約80名が参加した。

総会では、金沢大学山崎学長の挨拶の後、金沢大学事務局が2019年度の事業報告を行った。事業の柱は「教育プログラム(キャリア教育、日本語、インターン)」と「就職・マッチング支援」で、その実施状況、成果、そして就職者数向上に向けた今後の取組みの方向性について報告した。

続くシンポジウムでは、北陸AJEC、(株)アイ・オー・データ機器、石川県行政書士会、金沢大学が留学生の採用・活用促進に向けた講演を行った。

北陸AJECは、丸屋企画部会委員長が「北陸企業と留学生の地元就職を巡るミスマッチ～アンケート調査結果から」と題して、昨年度、ジェトロと共同で行った研究の成果を発表した。(担当:白又)



●ふるさと環境フェア

11月23日(土) 福井市

北陸環境共生会議は、福井県産業会館で開催された「ふるさと環境フェア 2019」へ、エコ・省エネをテーマにブース出展をした。当日は約100組の親子が、手回し発電で動くエコカー作り、太陽光発電で鳴るメロディーカード作りを行った。

北陸共生会議は、北陸3県と北陸経済連合会で構成する団体で、今後も環境保全に関し啓発を促していく。
(担当：森岡)

お知らせ

■高度外国人材採用・活用セミナーの開催

北陸 AJEC はジェトロ福井との共催で、高度外国人材採用・活用に関するセミナーを開催します。

本セミナーでは、北陸 AJEC とジェトロが共同で実施した北陸の企業と留学生に対するアンケート調査の報告に加え、全国の中小企業や福井県内企業の高度外国人材の活用事例を紹介します。

これから外国人材の採用・活用を考えていらっしゃる企業の皆様に役立つ情報を提供しますので奮ってご参加ください。

【日時】12月20日(金) 13:30~15:30

【場所】福井商工会議所 2階 A会議室

【内容】

1.「北陸企業の外国人材の活用と課題-北陸企業・留学生へのアンケート調査から」

北陸 AJEC 企画部会委員長 丸屋 豊二郎

2.「中小企業における高度外国人材の活躍に向けて」

ジェトロ名古屋 高度外国人材活躍推進コーディネーター

脇村 美緒 氏

3.「企業の高度外国人材の採用・活用事例」

日華化学株式会社 管理部門次長 今井 貴史 氏

株式会社日本エー・エム・シー

代表取締役社長 山口 康生 氏

※参加無料、50名(先着順)

詳細、参加申込はジェトロ福井 Web サイトの「イベント情報」をご覧ください。

<https://www.jetro.go.jp/events/fki/a5fd5c72a969795b.html>

【問合せ先】

ジェトロ福井 (担当：大滝・池應 (イケオウ))

Tel : 0776-33-1661 Fax : 0776-33-7110

E-mail : fki@jetro.go.jp

■「工場向けワイヤレス IoT 講習会 in 金沢」

【日時】12月13日(金) 10:20~16:30

(受付開始 10:00~)

【会場】石川県地場産業振興センター

【内容】工場に無線 IoT を導入し運用する際の知識・スキルの習得

【主催】総務省北陸総合通信局

【参加】無料(定員32名)

【申込】下記 URL から申込(〆切:12月6日)

<https://wireless-factory.jp/ishikawa/>

■「第10回北陸地域政策研究フォーラム」

【日時】12月14日(土) 10:00~17:30

【会場】石川県文教会館4階

【内容】自由論題：地域ブランド、地域環境、観光・交流、地域経済、地域デザイン

共通論題：地域政策としてのジオパーク

【主催】北陸地域政策研究フォーラム、金沢大学

【参加】下記メールで申込(〆切:12月6日)

cures@adm.kanazawa-u.ac.jp

■「5G と VR/AR/MR 地域創生セミナー」

【日時】12月16日(月) 13:30~17:00

【会場】金沢商工会議所 1F ホール

【主催】総務省北陸総合通信局、

北陸情報通信協議会

【参加費】無料

【申込・問合せ】

総務省北陸総合通信局電波利用企画課

E-mail : freq-hokuriku@soumu.go.jp

TEL : 076-233-4470

今後の活動予定

12月4日(水) 中部・近畿経済産業局との懇談会

12月5日(木) 北陸観光サロン

12月9日(月) 社会基盤整備委員会

12月10日(火) 会員懇談会(石川会場)

12月16日(月) 総合対策委員会

12月18日(水) 常任理事会

■「北経連トピックス」は、

2020年からメール配信になります！！

[ご登録が未だの方は、越野 yamar@hokkeiren.gr.jp](mailto:yamar@hokkeiren.gr.jp)
まで、ご連絡お願い致します。